

麻生区区民会議 第18回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成26年2月12日（水）午後3時～午後5時20分
- 2 開催場所：麻生区役所第2会議室
- 3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]
村主委員、高倉委員、梶委員、高瀬委員、田中委員、長谷川委員、吉田委員
（加賀美委員、久保倉委員は欠席）
[事務局]
鈴木企画課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者：1人

5 議 事

(1) 企画部会からの報告事項

① 区民会議ニュース

- ・ 第5号の裏面でモデル事業の実施内容・成果を報告・広報する予定
- ・ 協力家庭にも回覧されることを考えると、協力のお礼を掲載した方がよい
- ・ 文章表現を分かりやすく修正（ご自宅→お宅、家人→ご家族など）
- ・ 次回全体会議にて承認後、2/18印刷の予定

(2) 調査審議課題の具体的検討について

① 委員意見（課題、各課題に対する解決策）について

【報告事項】

モデル事業の評価について事務局から説明。

- ・ モデル事業の施行結果、対象世帯アンケート、参加者意見をもとに、活動計画・実施体制・家具の固定方法・対象世帯・防災対策推進のための提案について、まとめた

【主な意見】

- ・ 外部からの評価ではないので、「まとめ」としたほうがよい

【決定事項】

- ・ 文章表現を修正する（評価→まとめ、協力支援者→専門技術者など）
- ・ この「まとめ」も全体会議の資料とする
- ・ 報告書の資料編にも掲載する

【報告事項】

各委員からの課題についての意見に関して、事務局から説明。

- ・ 各委員から提出いただいた意見を整理し、まとめとしている

- ・ 課題1のきっかけづくりでは、監修の園田先生から、小学校の総合学習での出前授業がアイデアとして出されている
- ・ 課題2として、組織づくり・人材育成があげられ、園田先生から、半プロの養成講座がアイデアとして出されている
- ・ 課題3の普及・啓発については、園田先生から、説得力を持たせる材料として、分かり易い力学的な説明・図解・経費などの掲載があるとよいとの意見があった

【主な意見】

- ・ 課題2と課題3の順番を入れ替え、流れを分かり易く工夫する
- ・ 家具固定に関して必要となる経費等を明示することで取り組みへのきっかけとなる
- ・ 誰がいつどうやってなど5W1Hを整理し、解決策の実効性を高める必要がある

【決定事項】

- ・ 家屋の倒壊防止、火災予防についても含め、提言の文案を作成し、次回部会で審議する

(園田先生への相談結果について)

【報告事項】

モデル事業の実施結果についての説明を行い、いただいた助言などを高倉副部長から説明。

- ・ 家具の転倒防止については画期的な取り組みであり、他区や市内全体に広めていくべき
- ・ まずは、区民へのアピールと浸透に向け、戦略的な取り組みが重要になる
- ・ 市民グループや団体などを立上げ普及・啓発していくなどの取り組みもある
- ・ 普及・啓発に際しては具体的に費用などを知らせることで実行につながる
- ・ 転倒防止策の各ケースに沿って、レシピ的な情報提供を行い、イラストなどを用いてわかり易く提供していくことが必要である
- ・ 小中学校との連携を活かした取り組みの推進も考えられる（生田地区では中学校と大学のネットワークが活かされている）
- ・ 園田先生にモデル事業の監修者としてコメントをいただくことをお願いした

② 全体会議資料について

【主な意見】

- ・ モデル事業結果に関する資料を委員間で共有しておく（資料2、資料3-5は5月の全体会議でも報告し、区民会議委員・区職員などの関係者に周知する）
- ・ 啓発資料は完成版でなくても市民に見せ、その後の修正・改善に活かすことも考えられる
- ・ モデル事業報告会を行い、一般市民や、自主防災組織などの取り組みにつなげ

ることも目指したい

- ・ 子育てフェスタで家具転倒防止の啓発の場を設ければ、転倒防止のアイデアなどの周知にも活かせる
- ・ 報告会に専門技術者に参加いただくことも考えられる

【決定事項】

(次回審議議題について)

- ・ モデル事業報告会の開催について（対象者・期日・出席者など）の検討が必要である

(報告書について)

- ・ モデル事業のまとめを報告書資料編に盛り込む
- ・ 工実施計画のサンプルは1ページに整理する（簡単な施工工事部分は削除するなど）

③ 普及・啓発資料について

【主な意見】

- ・ 誰に向けての資料かを検討する必要がある
- ・ 市民自らが取り組める対策、それとも専門家に依頼して行う対策も対象とするのか
- ・ 自助と共助を中心とした内容とする
- ・ 施工費用や工事内容に関する問い合わせ・確認についての情報は必要
- ・ 専門技術者には、いつ、どのような内容（VTR撮影への協力依頼、ヒアリング、報告会への参加など）の協力を依頼するか確定してから、依頼すべき
- ・ 子育てフェスタで家具の転倒防止のデモを行うこともできる（区役所ロビーで実地的な家具転倒防止の装置を利用した参加型の啓発活動ができる →専門技術者に依頼して装置を持ち込み区民啓発に活かす）

【決定事項】

- ・ 2/17の全体会議の後、部会勉強会を行い、残りの審議項目の検討をする（普及・啓発資料、子育てフェスタでの安全安心部会の内容について）
- ・ 全体会議での説明資料は、モデル事業のまとめ、安心・安全のまちづくり部会検討経過報告とする
- ・ 資料に関する修正については部会長一任とする

(3) その他

第19回安全部会は、平成26年3月11日（火）15:00 開始

議題：普及・啓発資料について

子育てフェスタにおける安全安心部会の取り組みについて

モデル事業の報告会について

報告書の内容について

など

以上